

ちょうど5年前の6月9日に 火曜班のフィールドの一つであるヲガマ田の法面で発見してから、姿を見ることができなかったオニノヤガラの開花に出会うことができた。5年ぶりの再会である。オニノヤガラは三谷のフィールドのなかで、この火曜班のヲガマ田でしか発見できていない。

主な特徴

1. 腐生植物の一つで、光合成をおこなわず、葉緑素を持たない。
2. 円柱状の茎は直立する。40cm~120cmくらいに伸びる。
3. 表面に多くの節がある。
4. 花期は6-7月 黄褐色の花が下から開花していく。3萼片からなる。
5. 地中のナラタケ菌類から養分を得て成長する。
6. 毎年姿を見せるわけでないその謎は不明である。
7. オニノヤガラは希少種の一つとして、A表 で管理しているアイテムである。
8. 弓矢を地面に突き立てたような形に見える。
9. 花、茎ともに黄褐色系の色合いである。



オニノヤガラの花



茎にはリング状の節がみられる。